

(別紙)

スケジュール

人権ディフェンダーになるための3日間集中プログラム<ユース向け>第2回：様々な格差に伴う人権課題

日程	3月14日（土）	3月15日（日）	3月16日（月）
10:00	01 レクチャー・ワークショップ 人権の基礎を学ぶ	02 フィールドワーク・ワークショップ 見えにくい困難に寄り添う 社会的養護と子どもの貧困	03 フィールドワーク・ワークショップ 当事者との交流を通じて考える 人権課題と行動計画
	オリエンテーション 10:00～10:15		
	プログラム①10:15～11:30（レクチャー）	プログラム③10:00～13:00（フィールドワーク）	プログラム⑤10:00～13:00（フィールドワーク）
	人権とは何か	施設を出た若者のリアルから考える	不登校経験者の声を聞く
	（公財）東京都人権啓発センター専門員	高橋 亜美 (アフターケア相談所「ゆずりは」責任者)	石本 恵美 (創造集団440Hz代表取締役/代表理事)
	安全な学習環境を守るためにルールの確認とアイスブレイクを行った後、人権の基礎知識、人権ディフェンダーとは何かを学びます。	児童養護施設や里親家庭を出た子どもの子どもや若者などを支援する「アフターケア相談所」を運営してきた高橋さんが、新たに開設した“集いの場”「ながれる」を訪問します。親の虐待などで社会的擁護を経験した若者が直面する困難について学びます。	不登校やひきこもり経験者が立ち上げ、映像制作などをを行う社会的企業「創造集団440Hz」を訪問します。当事者たちが背負われる孤独感や進学・就職での困難を超えて、自分らしい人生を模索する取り組みを学びます。
	昼休憩	昼休憩	昼休憩
	プログラム②12:30～17:00（ワークショップ）	プログラム④14:30～17:00（ワークショップ）	プログラム⑥14:30～17:00（ワークショップ）
	見えない前提に気づく：特権性を考える	「子どもの貧困」を権利の視点から学ぶ	権利を守るために行動する
	出口 真紀子 (上智大学外国语学部英語学科教授)	甲斐田 万智子 (立教大学講師、認定NPO法人国際子ども権利センター（C-Rights）代表理事)	(公財) 東京都人権啓発センター専門員
17:00	身近な場面に潜むさまざまな不平等を理解するための基盤として、特権性とそれを生み出す社会構造について学びます。自分が無自覚に享受している有利さに気づくことで、他者が置かれている不利な状況を想像しやすくなり、人権課題をより多面的かつ立体的に捉える力を養うことを目的とします。	国内外の子どもを取り巻く現状を、子どもの権利の視点から学びます。特に、ワークを交えた講義を通して、子どもの貧困の背景や影響について理解を深め、「子どもの貧困」を自分と関わる課題として捉えることを目指します。	3日間を振り返りながら、自分の身の回りでできることや目標を整理し、気づきを行動につなげるための行動計画を作成します。
会場	東京都人権プラザ	訪問先：「ながれる」 東京都人権プラザ	訪問先：創造集団440Hz 東京都人権プラザ

講師

- 出口 真紀子（上智大学外国语学部英語学科教授）
- 高橋 亜美（社会福祉法人「子供の家」アフターケア相談所「ゆずりは」責任者）
- 甲斐田 万智子（立教大学講師、認定NPO法人国際子ども権利センター（C-Rights）代表理事）
- 石本 恵美（創造集団440Hz代表取締役/代表理事）

グラウンドルール（参加に当たっての約束・注意事項）

- 「安全・安心」皆さんの安全に最大限配慮してプログラムを行います。心配なことがあればいつでもスタッフに相談できます。
- 「プライバシー」プログラムで知り得たお互いのプライバシーは口外しません。また参加に際して本名を名乗る必要はありません。好きな名前で参加できます。
- 「傾聴」相手の話を遮らずに最後まで聞きます。お互いを尊重し、相手を否定しません。
- 「無理をしない」あなたの状況について、他の人に無理に話す必要はありません。途中で気分が悪くなった場合はいつでも退出・休憩できます。
- 「差別を許さない」ジェンダー・人種・年齢等に基づく差別的な発言や行動は許容しません。問題のある場合は退場していただきます。
- 「撮影禁止」録画、録音、撮影は禁止します。主催者も、皆さんに無断で録画、録音、撮影は行いません。